

大学ポートレート運営会議（第18回）議事要旨

1. 日 時 令和5年1月19日（木） 13:30～15:00

開催方法 オンラインにより開催

2. 出席者

[委員] 奥野委員、小瀬委員、坂根委員、志賀委員、鈴木委員、高橋委員、林委員、
松尾委員、光石委員、水戸委員、柳沢委員、
伊藤日本高等教育評価機構常務理事・事務局長（安井委員代理）

[主査] 杉谷大学ポートレートステークホルダー・ボード主査

[オブザーバー] 早川高等教育局大学教育・入試課課長補佐（文部科学省）

[事務局] 蔵川大学ポートレートセンター長、井田大学ポートレートセンター教授、
吉田評価事業部長、勝又大学ポートレートセンター事務室長
（以上、大学改革支援・学位授与機構）、
野田私学経営情報センター長（日本私立学校振興・共済事業団）

3. 議 題

- (1) 大学ポートレート運営会議の議長及び副議長の選任について
- (2) 大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について
- (3) 質保証システム部会「審議まとめ」への大学ポートレートの対応について
- (4) 大学ポートレートの現状について
- (5) その他

4. 配付資料

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 資料1 | 大学ポートレート運営会議委員名簿 |
| 資料2 | 大学ポートレート運営会議（第17回）議事要旨（案） |
| 資料3 | 大学ポートレートステークホルダー・ボード委員名簿 |
| 資料4 | 令和4年度大学ポートレートステークホルダー・ボード 主な意見 |
| 資料5 | 質保証システム部会「審議まとめ」への大学ポートレートの対応について（案） |

資料 6	大学ポートレートの現状について
資料 7	令和 4 年度大学ポートレート参加状況
資料 8	大学ポートレート公表画面へのアクセス数について
参考資料 1	大学ポートレート運営会議関係規則等
参考資料 2	令和 4 年度ステークホルダー・ボード 大山委員提出資料
参考資料 3	令和 4 年度ステークホルダー・ボード 岡本委員提出資料
参考資料 4	令和 4 年度ステークホルダー・ボード 近藤委員提出資料
参考資料 5	令和 4 年度ステークホルダー・ボード 佐藤委員提出資料
参考資料 6	令和 4 年度ステークホルダー・ボード 鳥居委員提出資料

初めに、委員の改選があったことに伴い、第 5 期の委員の紹介及び大学ポートレート運営会議の役割等について説明があったのち、議題について協議が行われた。主な内容は次のとおり。

(1) 大学ポートレート運営会議の議長及び副議長の選任について

- ・委員の互選により、議長を鈴木委員、副議長を水戸委員が務めることとなった。
- 続いて、大学ポートレート運営会議（第 17 回）の議事要旨の確認が行われた。

(2) 大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について

- ・勝又事務室長より資料 3 に基づき概略について説明の後、杉谷大学ポートレートステークホルダー・ボード主査より、資料 4 及び参考資料 2～6 に基づき、令和 4 年度大学ポートレートステークホルダー・ボードにおいて委員から出された意見について報告があった。
- ・議長より令和 5 年度の大学ポートレートステークホルダー・ボードの開催について提案があり、開催することが承認された。

<主な意見>

【高橋委員】 国立大学執行部の知人に対し、大学ポートレートに重要な情報が入力されていないことを伝え、対応いただいたことがあった。情報を出すことで大学は自己像を確認し、他大学との比較もできるというメリットがある。主要な国立大学でも情報が

入力されていないところがあるが、日本の女性の社会参画が問題となっている今、各大学が女性教員の割合を入力していないことを重要な課題として取り上げるべきではないか。

【光石委員】ステークホルダー・ボードのご報告のうち「信頼性のある情報を検索できる」という点については、女性教員の割合も含め、信頼性が高いデータを十分に掲載していくことが極めて重要だと思う。

【高橋委員】退学者数等の数値も公表すべきという意見があったとのことだが、そのとおりである。非常に重要な点であり、大学は責任を持って公表していくべき。

(3) 質保証システム部会「審議まとめ」への大学ポートレートの対応について

・勝又事務室長より、資料5に基づき中央教育審議会大学分科会質保証システム部会「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について（審議まとめ）」（令和4年3月18日）への大学ポートレートの対応について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見>

【伊藤常務理事・事務局長】日本高等教育評価機構で評価を受け、第1期は適合、第2期は不適合という結果でも、第1期の適合のまま結果を表示し、第2期の不適合を公表していない大学があるなど、なかなか公表しづらい事情があるかと思う。

なお、記載事項の「評価年月」は、評価結果が出た年を入力するという理解でよい。

【勝又事務室長】現状と同じく、評価結果が出た年というご理解でよい。

【高橋委員】大学として公表しているものを大学ポートレートにも同様に出版せよ。空欄が多い大学を見ると、大学ポートレートが大学から重視されていないと感じる。ダイバーシティを重視するのであれば、大学ポートレートの女性や外国籍教員の数、認証評価結果についても当然入力すべきではないか。

【林委員】評価結果について、国立大学を見ると認証評価や法人評価の結果が入力されているが、どの評価結果を出すかは各大学の判断か。

【勝又事務室長】国公立版では、国立大学法人評価や公立大学法人評価も含めての項目としている。大学ポートレートへの参加自体が任意ということもあり、どの評価結果を

公表するかについても各大学の判断としている。

【林委員】 そのあたりも今後の課題かと思う。

【鈴木議長】 簡単に結論を出すことは難しいが、大学評価の国際的な標準化の進展に日本も合わせていく必要があるのではないかと思う。大学の国際化という観点から、避けて通れない課題であると認識していきたい。

【早川課長補佐】 評価結果のリンク先の統一や、適合・不適合の表示については、ぜひ前向きに検討いただきたい。評価結果を国民や高校生、保護者の方に知っていただくのは大変重要なことであり、文部科学省のホームページに掲載することも検討していきたいと考えている。

「教学マネジメント指針」（令和2年1月22日）の情報公表事項への対応に関しては、各大学の事情があると重々承知しているが、せめてこの大学ポートレートにおいて情報を掲載できるような機能を搭載することについて、ぜひ前向きに検討いただければと思う。

（４）大学ポートレートの現状について

- ・勝又事務室長より、資料6に基づき大学ポートレートの機能拡充・改修等について説明があった。その後、資料7及び資料8に基づき大学ポートレート参加状況及びアクセス数について報告があった。

<主な意見>

【早川課長補佐】 まず大学ポートレートを知っていただくことが重要であるため、文部科学省としても高等学校関係者や大学関係者が集まる場で引き続き周知やお願いをしていきたいと考えている。

（５）その他

- ・特になし

以 上